

日奈久断層帯沿いの地表地震断層周辺での被災状況（速報）

2026 年 9 月 4 日

鳥井真之¹⁾・遠田晋次²⁾・Luca Malatesta²⁾³⁾・高橋尚志²⁾・原 勇貴⁴⁾・市川八州夫⁴⁾・長谷中利昭¹⁾

1) 熊本大学くまもと水環境・減災研究教育センター, 2) 東北大学災害科学国際研究所, 3) Helmholtz
Centre for Geosciences (GFZ), 4) 応用地質株式会社

2026 年 7 月 28 日に発生した令和8年熊本地震（M7.1）での地表地震断層（以下、断層）の分布と変位量（ズレ）、そして断層に関連した被害状況を上記研究グループで地震発生時から継続的に調査しています。このうち分布と変位量については既報しており（遠田ほか, 2026）、ここでは断層変位に伴う構造物等への影響を報告します。調査の結果、断層変位量の大きい宇城市豊野町山崎付近から八代市妙見町の区間で構造物への顕著な影響が見て取れます。地震による被害は、地震動と断層変位（ズレ）がありますが、地震動への対応は耐震設計等が効果的な対策となりつつある一方で、断層変位には対応しきれていない状況が数多く確認されました。

調査にあたり、被災地の皆さまには、被災直後という大変な状況にもかかわらず、住宅地内での調査にもご了承いただくなど多大なるご協力を賜りました。心より感謝申し上げます。

位置図には地理院地図を使用しました。

益城町島田～嘉島町井寺付近の被災状況

益城町砥川付近で布田川断層から分岐し、嘉島町井寺へのびる北甘木断層は、2016年の熊本地震で地震断層が確認されていた。
2026年熊本地震でも地表面での変状が見られた



①嘉島町北甘木の東側台地に向かって畑地上を南北～北東-南西方向に伸びる亀裂群



③嘉島町北甘木の東側台地に向かう南北方向の農道に見られる東西方向の圧縮による破壊



②益城町櫛島集落の方向に向かって畑地上を南北方向に伸びる亀裂



④嘉島町井寺集落～九州自動車道嘉島JCTの農道脇の水路に見られる破壊

御船町高木周辺の被災状況



①益城町小池と御船町高木の境界付近

①～③は2016年熊本地震以降に余効すべりが確認されていた地点で、今回の地震で右横ずれし亀裂が拡大している



②御船町高木

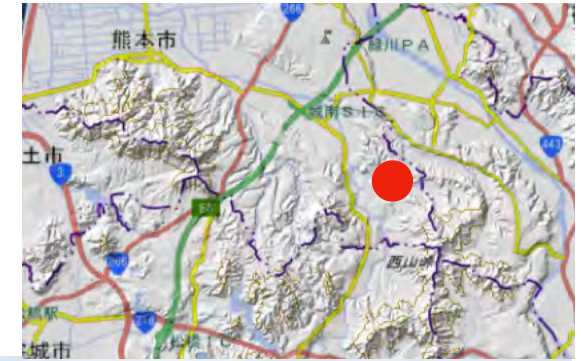


③御船町滝川



④御船町小坂の二宮神社では鳥居や灯籠が倒壊するが、周辺の住宅での倒壊被害は見当たらない

熊本市南区城南町鰐瀬付近の被災状況



①簡易補修された断層による亀裂わずかに右横ずれする



②農道を横切る断層は右横ずれし開口する。

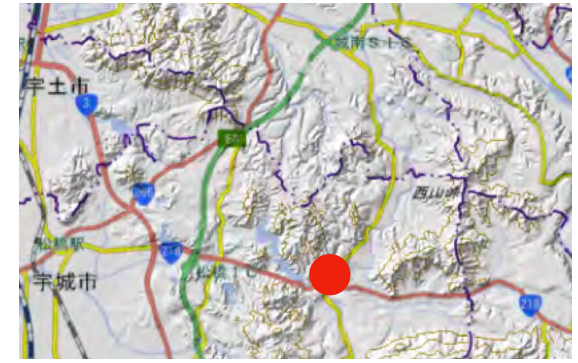


③断層は畑から道路につづき、道路白線が右横ずれを示す



④ここでも畑から道路に断層がつながる。鰐瀬付近では明瞭な右横ずれ変位するが、垂直変位はわずかである

宇城市豊野町周辺の被災状況



①山崎付近では小熊野川左岸の崖沿いに多数の断層が認められる。支柱間の短縮によりガードレールに変形が見られる



②①より南へ約200mの道路（東経塚・部田線）の亀裂の状況。地表地震断層とノンテクトニックと考えられる亀裂が混在する。急傾斜地形であり、斜面が著しく不安定になっていると考えられる。



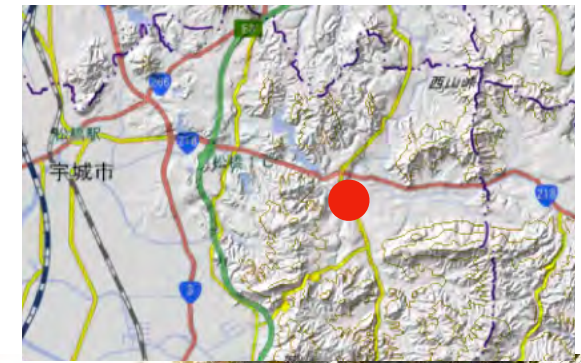
③擁壁の破損が多数見られる



④国道218号。断層によりセンターラインが右横ずれする。写真奥に新山崎橋が見える

宇城市豊野町周辺の被災状況

県道32号寺村付近の橋梁と浄水寺跡



①破損した陸橋。断層は電柱の立っている橋台付近を通過していると推測される



② ①の橋の上から撮影、路面の亀裂は地表地震断層ではなく、近傍での断層運動に伴う、地山と盛土との境界での変形の可能性がある。



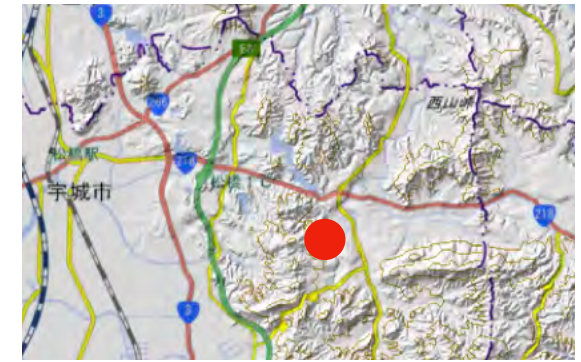
③浄水寺跡の石積み擁壁下部が断層により引きずられ変形する



④石灯笼や令和3年に建てられた鳥居が倒れるが、社殿はかろうじて倒壊を免れている

宇城市豊野町周辺の被災状況

農道と周辺の水田等



①道路（寺村古賀線）の亀裂。4条の亀裂により左右にそれぞれ変位するが全体では右横ずれに変位する



②①の亀裂はおよそ50cm開口しているところもあり、通過を試みた軽トラが亀裂に落下し動けなくなる



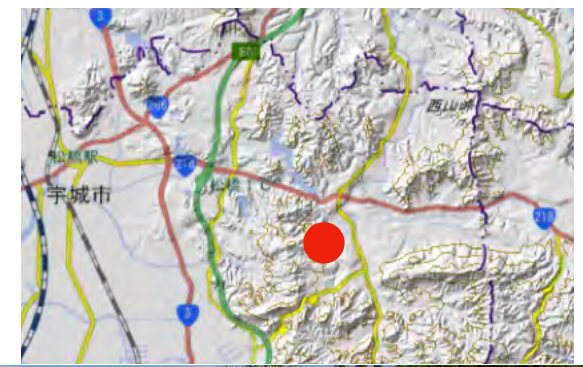
③右横ずれ35cm,南隆起45cmの断層による変位



④断層によりコンクリート床が引きずられグレーチングが変形する

宇城市豊野町周辺の被災状況

水口下ため池



水口下ため池を地震断層が通過する。赤線が断層。道路上の白いスジは地震により生じた亀裂を砂利で埋めている



②護岸擁壁の損傷



①断層により右横ずれした道路。断層はため池に続いている



③複数の断層により変位が分散する

宇城市小川町周辺の被災状況

県道224号と周辺の水田等



①県道244袋婆神（さばがみ）峠付近での断層による右横ずれ、南側（写真左）法面は道路面の破壊に連続せず、西側に大きく離れた位置で破壊している



②九州自動車道の側道に現われた断層



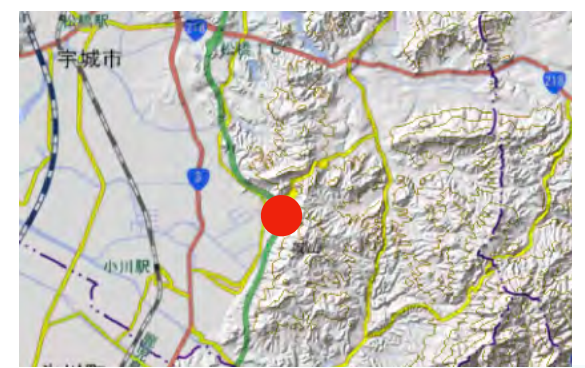
③九州自動車道陸橋下の御手洗水源、水路の右横ずれに伴いグレーチングがずれる



④御手洗水源付近で九州自動車道に平行する右横ずれ断層、道路からの排水路が右横ずれに伴い変形する

宇城市小川町周辺の被災状況

九州自動車道と水田， 宅地



①九州自動車道下のカルバート（松橋19）が右側に変形する



②水田を横切る断層。断層変位により水の供給が途絶え稲が枯れはじめている



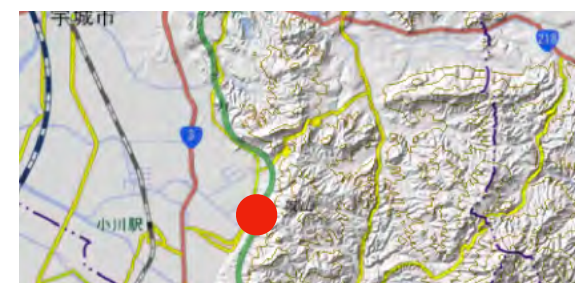
③地震断層が家屋を横切る。ブロック塀と垣根の変状が断層変位の影響を表している。外見からは建物に大きな変状は見られないが、断層直上部では大きなダメージを受けている



（宅地内での調査許可を頂いています）
④③の建物の様子。断層の右横ずれと垂直の変位により基礎が破壊されており、建物が裂けるように壁面に亀裂が入る。

宇城市小川町付近の被災状況

高倉ため池



左ステップする
地震断層に挟ま
れるように高倉
ため池の堤体が
位置する



堤体では右にずれ
た護岸が確認され
る。また、断層が
推定される位置で
欄干が複数破損し
ており、堤体の変
形を示唆する



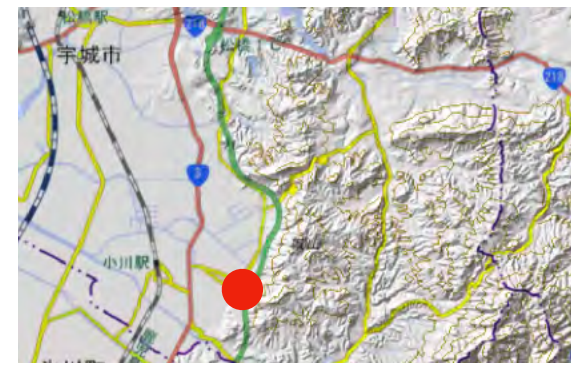
ジョグにあたる堤体
前面では県道244号
が圧縮変形してお
り、その延長上の
堤体にブルーシート
がかけられている。
堤体擁壁には亀裂
が認められる



地震断層は高倉ため池の堤体へのびる

宇城市小川町付近の被災状況

守山八幡宮付近での被災状況



①守山八幡宮前での右横ずれ変位。水路が大きく破損する



②守山八幡宮の社殿を横切る断層



③守山八幡宮前の社殿付近では石灯籠などが倒壊する



④守山八幡宮境内には、平成28年熊本地震により倒壊した鳥居が保存されている

宇城市小川町周辺の被災状況

小川市街地での被災状況



①県道32号線に現われた断層



② 延福寺の本堂は断層上に位置しており、断層の沈降側では基礎が浮き上がっている



③撓曲変形が見られ、写真奥では建物が傾動している。



④③での電柱付近からの撮影。道路（益南・小川線）のアスファルトは地下の断層変位に引きずられ複雑に変形する

宇城市小川町から氷川町吉本周辺の被災状況

砂川護岸と苧萱橋（かるかやばし）



① 右横ずれする道路（砂川右岸線）。断層近隣の家屋からは住民が屋外避難している



② 断層（撓曲）による砂川右岸での護岸の変形。護岸の風化による境界線と水面との関係は北西側（写真左）の沈降を示している。



③ 砂川にかかる苧萱橋。②同様に護岸の状況から、川面の色が深くなる境界が断層と推定され、断層は左岸側（写真左）の橋台と橋脚の間を通る



④ 左岸側の橋台にかろうじて引っ掛かる苧萱橋の橋桁。橋梁を横切る断層の変位によるダメージは妙見ジャンクションと同様

氷川町周辺の被災状況

吉本周辺での市街地での宅地建物の被害状況



(宅地内での調査許可を頂いています)

①住宅の駐車場に現われた断層，断層は写真右側の玄関付近を通過している



(宅地内での調査許可を頂いています)

②①宅の玄関付近の様子。断層による変位で建物が約50cm浮いた状態になっている。プロパンガスボンベが散乱するもホースは接続状態で保たれていた



(宅地内での調査許可を頂いています)

③駐車場に現われた断層，断層は写真奥の建物の下を通過しており，建物の壁にひび割れと剥離が生じている。



(宅地内での調査許可を頂いています)

④③の家屋の裏側の様子。断層により基礎が破壊されており，建物も裂け，沈降方向へ傾いている。

氷川町周辺の被災状況

宮原周辺での市街地での被害状況



①国道443号線が断層により右横ずれしている



①右横ずれ変位によりブロック塀が変形し倒壊する



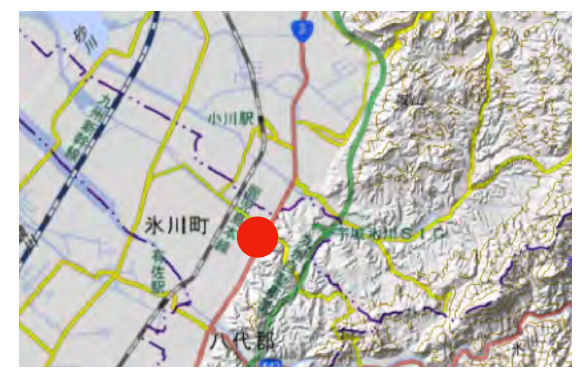
断層は右横ずれ変位により建物と道路を変形させ、水田へとつづく



①杉型に雁行する断層が宮原小学校のグラウンドから校舎方向へ向かう

氷川町周辺の被災状況

氷川町大野道の駅竜北周辺での被害状況



①国道3号線（写真左）と平行するように道の駅竜北の駐車場から歩道橋の下まで杉型雁行亀裂が確認される



②道の駅の建屋では、建屋下を通過する断層により梁が破断するなど建屋が変形している



③道の駅竜北横の用水路では、断層により護岸擁壁が損傷している



④断層変位により道路の破損状況。路面だけではなく、擁壁にも大きな損傷を与えている

八代市岡町での被災状況

八代市立龍峯小学校



都市圏活断層図による活断層位置から約300m離れて断層が出現



龍峯小学校に現われた地震断層。断層は校庭から校舎下へ続く



断層上での校舎の破損状況



グラウンドでの断層の状況

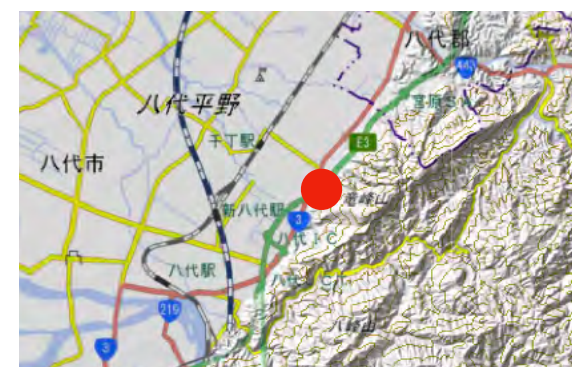


断層により変形した花壇

(調査許可を頂いています)

八代市川田周辺の被災状況

九州自動車道川田橋付近



(宅地内での調査許可を頂いています)

①川田橋の南側に隣接するビニールハウスは断層により東落ちに変形する

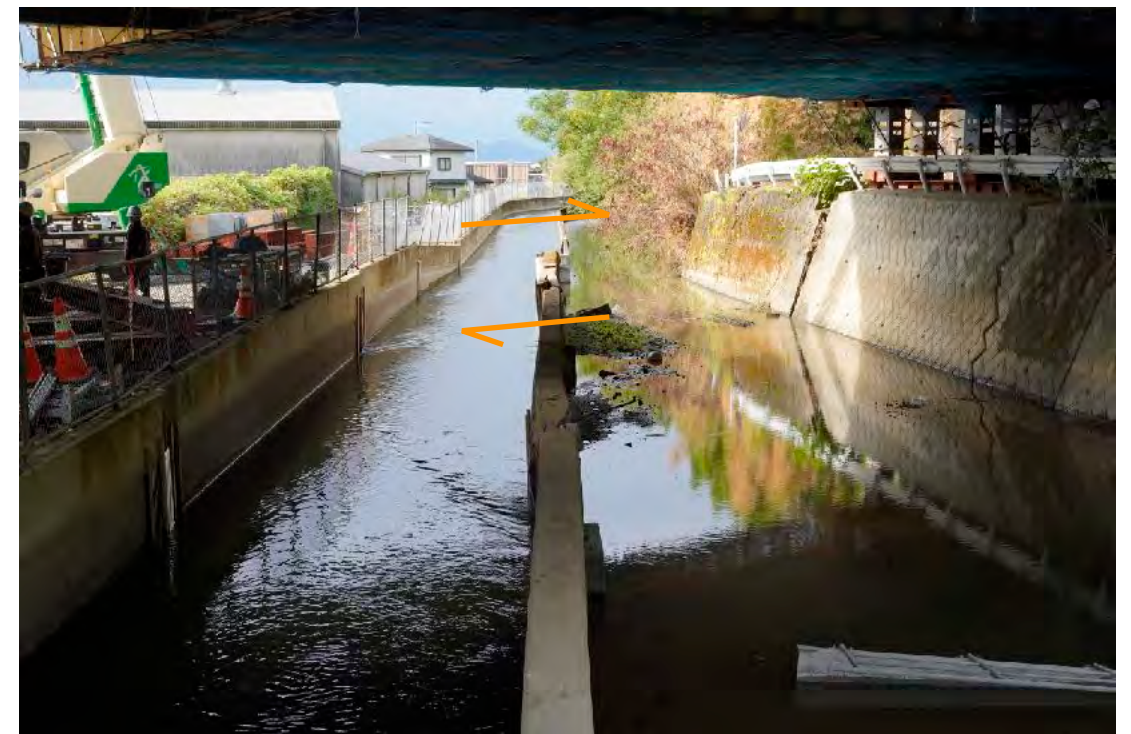


(宅地内での調査許可を頂いています)

②①の背面側宅地内の断層は川田橋方向へつづく



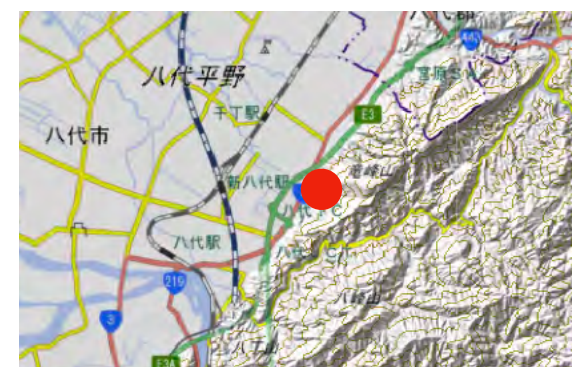
③川田橋南側側道の断層、橋下への連続性は不明瞭



④川田橋の下、新川の護岸に断層変位が見られる

八代市川田周辺の被災状況

新川沿いでの被害状況



①新川にかかる橋の橋桁がおよそ90cm右横ずれする



②この地点でも新川の架橋が①同様に横ずれしている

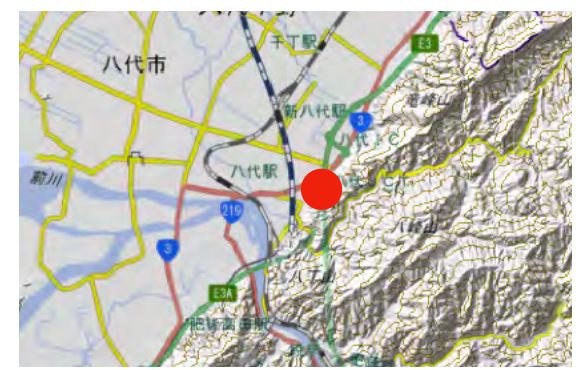


③道路と新川を横切る断層



④③地点での新川護岸の破損状況

八代市妙見ジャンクション周辺の被災状況



①断層変位は高速道路の橋梁に大きなダメージを与えたが、断層横の墓石には転倒などの損傷は見られない。



②①撮影地点近くでの別方向のショット。△は雁行するそれぞれの断層。近傍の建物には屋根瓦の崩落があるものの遠望では外観上の大きな損傷は確認できない。

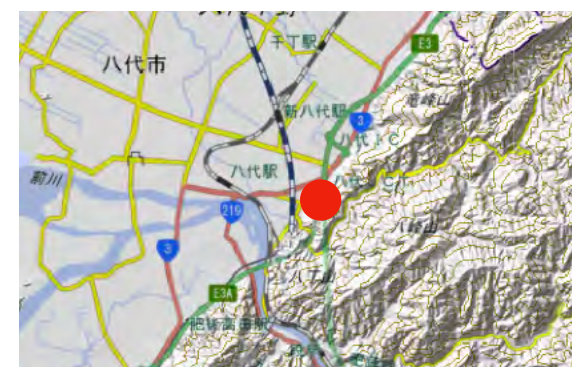


③断層は雁行しながら自動車道下を通過しているが、写真左の下り線に影響を与えた断層は△の位置付近で変位が終わるようである。橋脚の手前側が沈降している



④下り線に影響を与えた断層は墓地も変位させているが、その一方で、墓石の転倒は断層により傾いた部分のみで極めて少ない。△は断層位置

八代市妙見周辺の被災状況



①建物の前のスペースに現われた断層。断層崖には盛土と砂礫層？がみられる。遠望では建物に外観上の大きな損傷は確認できない。



②水田を変位させた断層



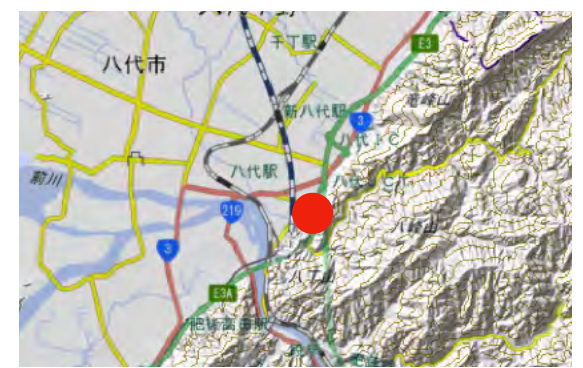
(宅地内での調査許可を頂いています)

③建物の直下を通る断層により建物が湾曲する。手前の断層崖には砂礫層が認められる。



④宅地内を断層が通過する

八代市八代神社（妙見宮）の被災状況



①八代神社（妙見宮）の境内を横切る断層。断層変位によりフェンスの扉が引きちぎられる。断層は本殿をかすめる



②赤色コーンが断層を囲うように配置されている

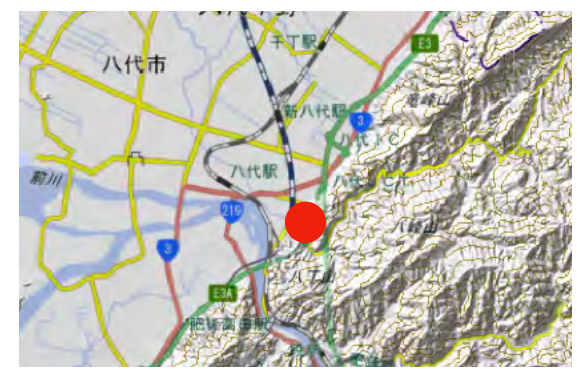


③②の▽位置での側溝の横ずれ



④断層から離れており、地震動により倒壊したとみられる社殿

八代市八代神社（妙見宮）の被災状況



①断層直上の社殿はたわむように変形する



②断層による縦方向の変位で石畳の参道が坂道となった。また、この石畳は右方向へも変形しているが、地面とのカップリングが弱かったため、右横ずれする地面の移動に完全には追従せず破壊を免れた可能性がある

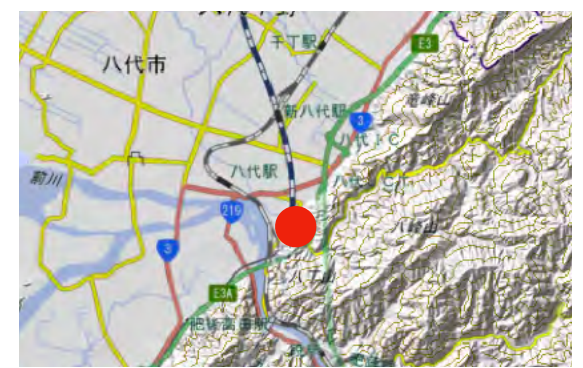


③②の南側の状況



④断層により駐車場と道路が大きく変形し、隣接する社殿が倒壊している。道路の白線は右横ずれを示している

八代市妙見町～宮地町周辺の被災状況



①県道155号線では断層によりアスファルトがめくれ上がる。車による通行が困難なため、歩いて湧水地まで向かう住民



②県道158号線を横切る断層。高架橋はJR九州新幹線

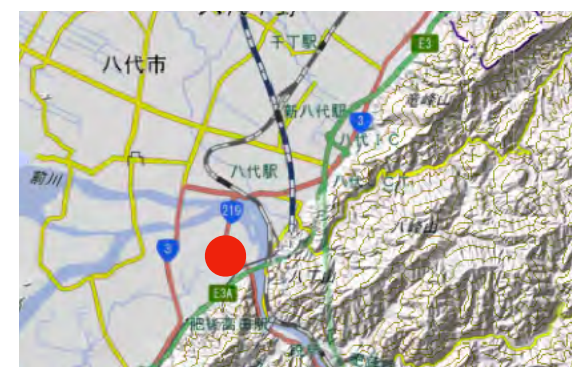


③②の南側の九州新幹線高架橋。ずれた橋桁の隙間にレールが見える、写真奥はJR九州新八代ATP



④断層により破損した用水路。亀裂から漏水する

八代市豊原周辺の被災状況



①国道219号線での断層



②△の位置が道路上に見られる断層

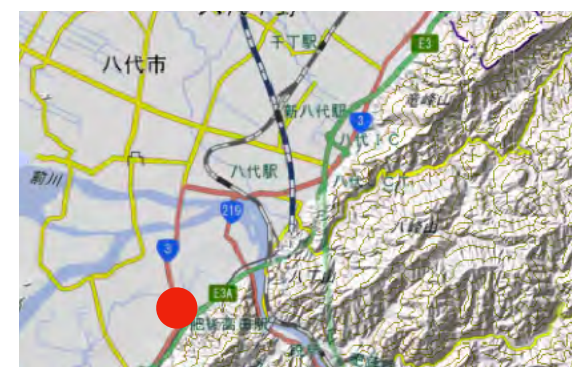


③奈良木神社周辺では、一部にブロック塀の倒壊などが見られるが、外観上大きく損傷した建物は見当たらない。



④豊原下町の道路を横切る断層

八代市平山新町周辺の被災状況



①肥後高田駅近くの道路を横切る断層。変位量は少ないが杉型に雁行する



②①の断層の延長は平山新町交差点付近で国道3号線を横断する



③②の断層から北西側約300mに平行する断層は医師会立病院付近で国道3号線を横切る



④③の断層の南西側延長部では道路に多数の亀裂や、擁壁の変形が見られる

■ お問い合わせ先

くまもと水循環・減災研究教育センター 減災型社会システム部門

〒860-8555 熊本市中央区黒髪 2丁目 39番 1号

熊本大学黒髪南地区工学部一号館 4 階 A426

TEL: 096-342-3489 E-mail: gensai2@kumamoto-u.ac.jp